

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-192159

(P2002-192159A)

(43) 公開日 平成14年7月10日 (2002.7.10)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

C 0 2 F 1/48

識別記号

F I

C 0 2 F 1/48

テームト\* (参考)

A 4 D 0 6 1

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2000-392699 (P2000-392699)

(22) 出願日 平成12年12月25日 (2000. 12. 25)

(71) 出願人 500586048

新川 義郎

神奈川県横浜市磯子区磯子 6-6-38

(72) 発明者 新川 義郎

神奈川県横浜市磯子区磯子 6-6-38

(74) 代理人 100066692

弁理士 浅村 皓 (外3名)

Fターム(参考) 4D061 DA02 DA03 DB06 EA18 EC01

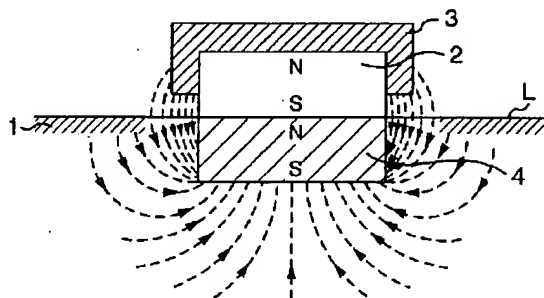
EC05 EC19

(54) 【発明の名称】 水の磁気化装置

(57) 【要約】

【目的】 大径の導水管に容易に適用できると共に、水のクラスターの分解作用が強く水の活性化を一層促進することのできる水の磁気化装置を提供する。

【構成】 鉄管1等の導水管の外部にS極が内側にN極が外側になるように磁石を取付け、導水管の表面Lを中心として磁石と対称的な位置に影像磁石4が形成できるようにし、導水管内の水に影像磁石4のS極に向う密度の高い磁力線が作用するようにした。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 水の流れる導水管の表面に接して永久磁石をS極が内側にN極が外側になるように取付け、該永久磁石によって形成される影像磁石のS極に向かう磁束を流水中に形成したことを特徴とする水の磁気化装置。

【請求項2】 前記永久磁石の側面及び外面を断面コの字形の非磁性体の鉄片で被覆したことを特徴とする請求項1に記載の水の磁気化装置。

【請求項3】 少なくとも1対の前記永久磁石を直径方向に対向させて導水管の表面に取付けたことを特徴とする請求項1に記載の水の磁気化装置。

【請求項4】 断面コの字形の非磁性体の鉄片で被覆した少なくとも1対の前記永久磁石を直径方向に対向させて導水管の表面に取付けたことを特徴とする請求項2に記載の水の磁気化装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、水を磁気化して水分子のクラスターを小さくすることにより水を活性化する装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来水を磁気化して水分子のクラスターを小さくすると、水分子の動きが活発化するため水が活性化して水道水がうまくなるとか、水の表面張力が低下して皮膚に浸透し易くなり、皮膚の深い所にある老廃物を洗い流して血液の循環を促進させ新陳代謝を活発にする等の効果があることが知られている。このように水を磁気化するために、例えば特許第2804458号に示すように、導水路を挟んで一対の磁石のN極とS極を対向せしめ、水流を横切りN極からS極に向かう磁束を形成する方法が周知である。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記従来の方法は、適用範囲が導水路を形成する管の直径が20mm乃至25mmまでのものに限られており、それ以上大径のものになると磁力線が管を透過することなく管内内部を通る回路が形成され、水流に磁気作用が及ばないという問題があった。従って25mm以上の大径の管に対しては管の内面に磁石を取付けける方法が採られており、これは極めて面倒な取付け作業を必要とする。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、大径の管に対しても、容易に適用可能であると共に、水分子のクラスターの分解作用をより強化し高い活性化水を得ることのできる水の磁気化装置を提供することを目的とする。この目的を達成するために、本発明によれば、水の流れる導水管の表面に接して永久磁石をS極が内側にN極が外側になるように取付け、該永久磁石によって形成される影像磁石のS極に向かう磁束を流水中に形成したことを特徴とする水の磁気化装置が提供される。

## 【0005】

【発明の実施の形態】本発明は、主として水道水或いは温泉水の流れる鉄管の表面にS極が内側にN極が外側になるように永久磁石を取付け、鉄管の表面を中心として永久磁石の反対側の鉄管内部に影像磁石が形成されるようにして磁石の長さが事実上2倍になるようにし、永久磁石のN極から影像磁石のS極の間に形成される磁束の密度が流水内で大きくなるようにすると共に、水の分子を構成する水素原子の電子のスピンを右回転として水分子の共有結合力を弱め、水のクラスターを分解して一層小さくできるようにしたものである。更に本発明の一態様においては、永久磁石の外側を非磁性体から成るコの字形断面の鉄片で覆い水流内に形成される影像磁石のS極に向う磁束を一層横に広げることができ、水のクラスターの分解作用を一層促進する。

## 【0006】

【実施例】図1は、本発明の原理を示すために本発明装置を流水の直角方向に断面した図面である。Lは鉄管1の表面で、説明の都合上平面で示している。鉄管1の上には鉄管の長手方向に延びる永久磁石2が、そのS極が鉄管1の表面Lに接しN極が外側になるように取付けられている。

【0007】図2に示すように、永久磁石2は側面と外面をコの字形断面の非磁性体の鉄片3で囲み、内面は鉄板5で被覆する。6は永久磁石2と鉄片3の隙間を埋めるシリコンで水の浸入による永久磁石の劣化を防止すると共に防水の効果を果たしている。

【0008】このように永久磁石2を鉄管表面Lに取付けると、面Lを中心として永久磁石2と対称的に図示のようにN、S極をもった影像磁石4が形成され、事実上磁石長さが2倍になったことに相当し磁束の広がりが大きくなる。鉄管表面Lは実際には円弧形をしており、この表面に図2に示す鉄片3で囲んだ長方形断面の永久磁石組立体を載せると、両側の鉄片3の下端と鉄管表面Lとの間には隙間ができ、永久磁石のN極から出る磁力線はこの部分に集中し、鉄管内の流水中に影像磁石4のS極に向う大きく広がった磁束分布が得られる。図1はこの状態を鉄管の表面Lを平面として模式的に示したものである。

【0009】永久磁石組立体は、通常鉄管の直径方向に対称的な位置に1対設けることにより略流水の全体に広がる磁束が得られる。永久磁石組立体の数は鉄管の太さに応じて適当に増やされる。図3は4つの永久磁石組立体を配置した例を示す。永久磁石組立体のセットは、図4に示す通り、必要に応じて鉄管1の長手方向に間隔を置いて2セット、あるいはそれ以上設けてもよく、最後に全体を図5に示す如く、カバー7で被覆する。

【0010】本発明の水の磁気化装置は以上のように構成され、水分子を構成する水素原子の電子はS極に向かう磁力線的作用でスピンの方向が、従来のN-S極間の磁

力線が作用する場合と逆に右回転し、従来のNS極対向装置より水素間の共有結合力を弱め水分子を分断され易くする。その結果水のクラスターが小さくなり、水の活性化効果は高まる。

【0011】量子力学で周知の通り、電子は粒子の状態と波動現象の二面性を有し、波動現象を示す状態において、電子の発する物質波の振動数が判れば電子のエネルギーの大きさを知ることができる。このエネルギーの指標は波動値としてMRA（磁気共鳴分析機）で測定され-20~0~+20の範囲の値をとり、この値が大きいほど水素間の共有結合力を弱め、水のクラスターが小さくなる。本発明の磁気化装置によって得られた水は、+9以上の波動値を示し、これは水道水において良い水とされる水の持つ値である。水の波動値は磁石の数を変えることによって、変化させることができる。

【0012】

【発明の効果】本発明は、鉄管、ステンレス管、塩ビ管、銅管等の管外に取付けた永久磁石により水の流れる管内に影像磁石を形成し、そのS極に向かう磁力線を流水に作用せしめるようにしたので、従来のNS極を対向させた磁気化装置では適用困難であった50mmから250mmの大径の管に容易に適用可能であると共に、流水の水分子に従来と逆極性の磁力線が作用するので、水の波動値が高くなり、水分子の結合力を弱め水のクラスターを分解させ易く水の活性化を一層促進することができる。かくして本発明により活性化された水は飲料とし

てのみならず、食品加工業、自然農法、畜産、養鶏および養殖漁業で使用して良い結果が得られている。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の原理を示す概要図で、導水管の表面に取付けた永久磁石により対象位置に影像磁石が形成され、流水中にS極に向う高密度の磁束が形成される模様を示す。

【図2】永久磁石と非磁性体の鉄片とがら成る永久磁石組立体の一実施例の断面図である。

10 【図3】鉄管の周囲に4つの永久磁石組立体を取付けた実施例の断面図である。

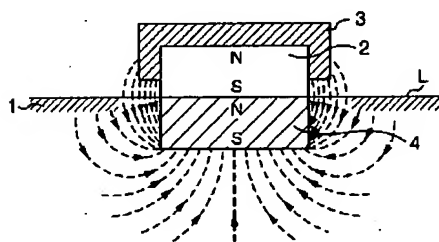
【図4】鉄管外周に4つの永久磁石組立体を配置したセットを鉄管の長手方向に間隔を置いて2セット設けた実施例の最終組立前の外観図である。

【図5】図4の装置にカバーを取付けて完成させた斜視図である。

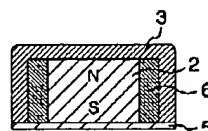
【符号の説明】

- 1 鉄管
- 2 永久磁石
- 3 鉄片
- 4 影像磁石
- 5 鉄板
- 6 シリコン
- 7 カバー
- L 管表面

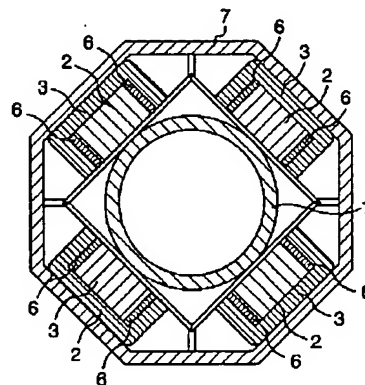
【図1】



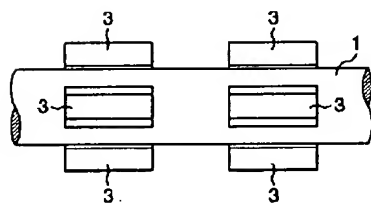
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

